

ひかりのこ

4月園便り

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2022年4月8日

月主題：はじめの一步

皆様、ご入園、ご進級おめでとうございます。
毎年4月は、スタートの月ですが、認定こども園聖ミカエル幼稚園にとっての今年の4月は格別です。4月1日から、幼保連携型認定こども園として、念願の新園舎での保育が始まりました。

玄関を入ると広い玄関ホール、真正面に子どものサムエルさんが神様とお話をしている木彫りの作品が掲げられています。一階廊下の突き当りは乳児さんのお部屋。乳児さんは4月1日から来ているので、少し慣れてきたようです。最初のうちは、園中に響き渡る元気な泣き声が聞こえていました。階段を上がると左に広い遊戯室、その奥にしろくま組と、らいおん組があります。階段を上がって右側は、きりん組とぱんだ組のお部屋です。どのお部屋も以前より広くなり、クラスが3つから4つに増えたことで、ゆったりした保育ができそうです。

先生たちは、3月18日の修了式の後、3月21日からお休み返上で、引っ越しを頑張ってきました。目の回るような忙しさでした。そして何とかこの始業式、入園式にこぎつけました。

あと、まだ作業が続いているのが、1階の絵本の部屋です。幼稚園にある5000冊近くの絵本、本全てにバーコードを付け、貸し出しができるようにしていきます。春休み中、高校生、大学生が手伝ってくれました。このお兄さんお姉さんは、ミカエル卒園、職員のお子さんや私の甥っ子です。地道な作業を毎日毎日飽きないで、続けてくれました。あともう少しで片付けが終わります。どなたにとっても過ごしやすい、魅力的な絵本の部屋にしていきたいと思っております。

そして楽しみなのが、給食です。4月1日から、「一富士フードサービス」さんが厨房に入り、栄養士さんの献立で、おいしい食事を作ってくださいています。朝から園内においしそうなにおいが漂います。お米は、長沼のメノビレッジさんから無農薬米を入れています。お櫃を開けた途端、お米のふくふくした香りが漂います。調味料は、生活クラブからも仕入れています。お醤油や、お味噌の味が格別です。野菜やお肉魚もできるだけ道内産を仕入

れるようにしています。子どもたちがニコニコしてご飯を食べてくれることを楽しみにしています。

新しい園舎で、今までと変わることのない子どもたち一人一人を大切に保育を行っていきます。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「祈りの幼稚園」

幼稚園の新しい一年が始まりました。しかも、ピカピカの新しい建物での始まりです。保育が開始されるということは、ミカエル幼稚園の場合は、礼拝が始まるということ、みんなでお祈りをする生活が始まるということです。今年からは赤ちゃんも加わり、先生たちの数も増え、一層お祈りが豊かに、たくさんになることでしょう。

祈りは自分を強め、励まし、新たな道を示してくれる神さまとの対話です。そして、人を気遣い、優しさをプレゼントすることでもあります。そのような経験を幼い頃から習慣にすることができれば、きっと楽しさ、優しさが倍増すること請け合いです。

しかし、私たち人間ですから、いつもうまくいくとは限りません。そういう時には心に余裕がなくなって祈れないこともあります。また、祈ってもらっても何も変わらないではないと言われることもあります。でも、祈りは必ず神さまに聞かれ、それを聞いた神さまは必ず何かをしてくださいます。私たちの心が鈍っているので、それに気づかないだけなのです。ウクライナで戦争が始まって、ウクライナの人々は、「私たちのために祈って欲しい」と願っています。遠い国の悲劇に「何もできない私たち」ではなく、私たちは祈りで支えることができるのです。自分を愛するため、人を愛するために、祈りの幼稚園を始めましょう。

チャプレン 司祭 下澤 昌